

水泳・水球

No. 12

令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会水球競技 【結果速報】

試合 M12 2回戦

【2025/8/18】

鹿児島南 12 $\left[\begin{array}{ccc} 2 & - & 3 \\ 5 & - & 2 \\ 3 & - & 2 \\ 2 & - & 3 \end{array} \right]$ 10 長浜北星

審判1 深谷周平

審判2 御崎智徳

No.	Name	被シュート数	失点	セーブ率
GK1	山口 諒真	26	10	47%
GK13	山田 瑛進	0	0	

No.	Name	被シュート数	失点	セーブ率
GK1	供田 暁	21	12	14%
GK13	春日 翔真	0	0	

No.	Name	シュート数	得点	PF数
GK1	山口 諒真			
2	宮本 郡志	1	1	
3	平川 欽大	3		1
4	石田 海斗			
5	藤本 恵太	4	3	1
6	揚野 悠聖	8	5	
7	牟田 翔樹	2	2	2
8	越智 稟斗			
9	有村 鳳晟	1		1
10	金丸 瑛大	1	1	1
11	古川 暖真	1		2
12	原田 悠成			
GK13	山田 瑛進			

No.	Name	シュート数	得点	PF数
GK1	供田 暁			1
2	越後 沙貢	4	1	
3	小田柿 純平			
4	打木 橙羽	6	3	1
5	中野 友貴	10	5	
6	奥 昇大			
7	世一 翔大	2	1	1
8	上田 夢翔			1
9	五井 龍征	4		
10	鈴木 蓮			
11				
12				
GK13	春日 翔真			

R7 インハイ水球 Web サイト

<https://j-waterpolo.net/25Yamaguchi/index.html>



令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 第93回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）

水球競技戦評

期日：令和7年8月18日（月）
会場：山口きらら博記念公園水泳プール

ゲームNo. 12

帽子の色 白

帽子の色 青

鹿児島南

1 2

2	-	3
5	-	2
3	-	2
2	-	3
PSO		

長浜北星

1 0

審判1： 深谷 周平
審判2： 御崎 智徳

戦評

令和7年度全国高等学校総合体育大会 兼 第93回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）は、8月18日（月）、山口県きらら博記念水泳プールで熱戦が続く。ゲーム12は、九州2位代表の鹿児島南高校（白帽）と、近畿2位代表の長浜北星高校（青帽）が激突。いずれも予選を勝ち抜いてきた実力校であり、序盤から互いの持ち味を存分に発揮する展開となった。

第1ピリオドは一進一退の攻防で幕を開けた。鹿児島南は③平川や⑦牟田が巧みに退水を誘発し、エース⑥揚野が確実に沈める形で2得点を挙げた。一方の長浜北星は⑤中野がフリースローで先制点を奪うと、④打木が正確無比なミドルシュートで続き、さらに退水から⑦世一が得点。わずか1点差の3-2で長浜北星がリードする。両校とも組織的なディフェンスを徹底し、容易に突破を許さない緊張感のあるピリオドとなった。

第2ピリオドでは鹿児島南が一気にギアを上げた。⑤藤本が立て続けに決め、試合の流れを呼び込むと、⑥揚野が圧巻の3連続ゴール。力強いシュートとゴール前での冷静なワンタッチは、まさに得点能力の高さを証明するものであった。長浜北星も⑤中野がゴール前で粘りを見せ、1分19秒には再びシュートを沈めるなど追撃を試みるが、鹿児島南GK①山口が鋭い反応で何度も得点を阻止。結果、このピリオドは鹿児島南が5-2と上回り、前半終了時点で7-5と逆転に成功した。守護神山口の好セーブは、流れを引き寄せる大きな要因となった。

第3ピリオドは、互いのエースが存在感を放った。鹿児島南は⑦牟田が自ら獲得したペナルティを確実に決めると、②宮本が技ありのループシュートを披露。さらに⑩金丸が冷静に得点を重ね、リードを広げる。長浜北星も⑤中野が体勢を崩されながら放ったミドルシュートで会場を沸かせると、終盤には退水セットから再びゴール。加えて③小田柿の働きで得た数点の有利を活かすなど、しぶとく食らいついた。ピリオドスコアは3-2で鹿児島南。依然として均衡は崩れず、勝負の行方は最終ピリオドへと持ち越された。

第4ピリオド、意地と意地が激しくぶつかり合った。鹿児島南は⑦牟田がリバウンドを押し込み、貴重な追加点を奪う。しかし長浜北星も攻撃のギアを上げ、④打木が見事なスクリーンプレーからペナルティを誘発し、②越後が冷静に決め切る。続いて④打木はディフェンスから一気に飛び出してカウンターを沈め、さらに終了直前にも退水セットから得点を決めるなど、驚異的な得点力を発揮。⑤中野もカウンターから決め切り、チームを勢いづけた。最後まで果敢に追いついた長浜北星の粘りは、観客の大きな拍手を呼んだ。

試合は最終的に12-10で鹿児島南が勝利を取めたが、スコアが示す通り白熱した接戦であった。勝利した鹿児島南は、⑥揚野の圧倒的な決定力と⑤藤本・⑦牟田らのサポート、そしてGK①山口を中心とした組織的な守備が光った。特に揚野の多彩な得点パターンは、全国でも屈指のストライカーにふさわしい内容であり、チームを勝利へ導いた。

一方で敗れた長浜北星も大いに健闘した。④打木の爆発力あるシュート、⑤中野の確実性と突破力は相手にとって脅威であり、試合を最後まで緊張感あるものとした。また、チーム全体での守備の切り替えや組織的なディフェンスは、相手の攻撃を何度も食い止める要因となった。スコア以上に拮抗した内容は、長浜北星の力を証明するものである。

総じて、この試合は鹿児島南の個人能力と組織力が結実した勝利であり、同時に長浜北星の攻撃力と粘り強さが光る好ゲームであった。両校が見せた水球は観客を大いに魅了した。